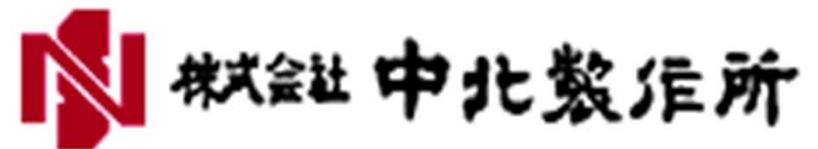




2019年5月期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

2019年8月1日 大阪



- I . 会社概要
- II . 2019年5月期 実績
- III . 2020年5月期 見通し
- IV . 今後の展望
- V . コーポレートデータ



I . 会社概要



1.会社概要・沿革

■会社概要

会社名：株式会社中北製作所
代表者：代表取締役社長 中北 健一
所在地：大阪府大東市
設立：1937年5月
資本金：1,150百万円
事業内容：自動調節弁・バタフライ弁・
遠隔操作装置製造・販売
従業員数：363名(2019年5月末現在)



■沿革

1930年 5月 初代社長 中北辨造が大阪市北区松ヶ枝町において自動調節弁の製造開始。
1937年 5月 大阪市北区今井町に移転し、株式会社中北製作所設立。
1939年 6月 大阪市城東区蒲生町に移転。
1960年11月 工場拡張のため大東市に工場建設(第1期工事)
1970年 5月 大東新工場完成、生産組織を新工場に集約する。
1971年12月 株式を大阪証券取引所市場第二部に上場する。
1972年12月 業務一体化のため本社組織を大東市へ移転する。
1994年 9月 ISO9001(国際品質保証規格)の認証を取得する。
2013年 7月 東京証券取引所と大阪証券取引所との現物市場の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場。



2. 事業内容

1930年創業以来、船舶・発電・製鉄・化学プラント等バルブを中心とした**流体制御システム**を提供

19/5期 売上高 **19,084百万円**

船 用
70.3%



陸 用
29.7%



遠隔操作装置
27.4%



バタフライ弁
28.3%



自動調節弁
44.3%



3.製品

船用製品(自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)

- ・流体制御システムとして遠隔操作装置、バタフライ弁、自動調節弁を一括納入
→ワンストップ・ソリューションを提供
- ・国内の船舶業界で高い評価を受け、業界トップシェア



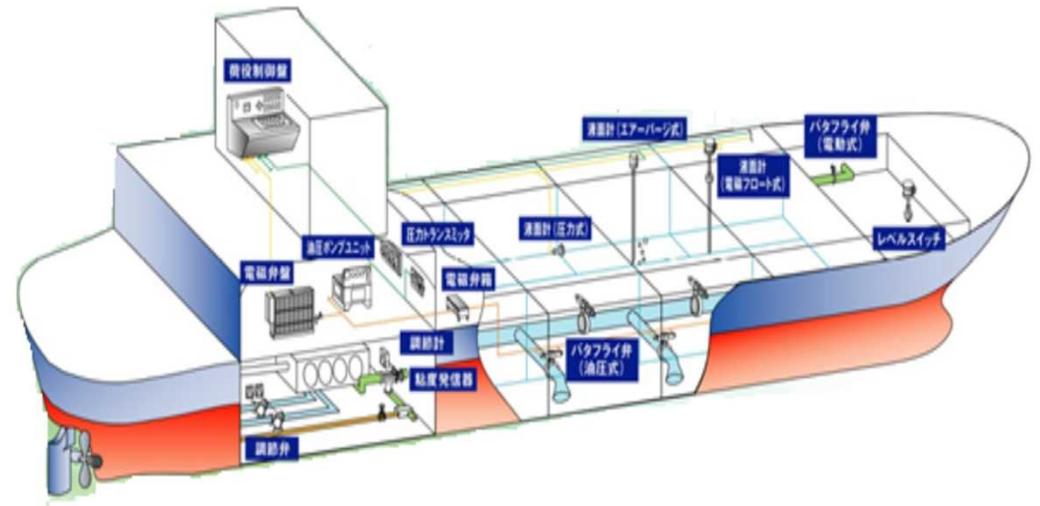
遠隔操作装置



バタフライ弁



自動調節弁

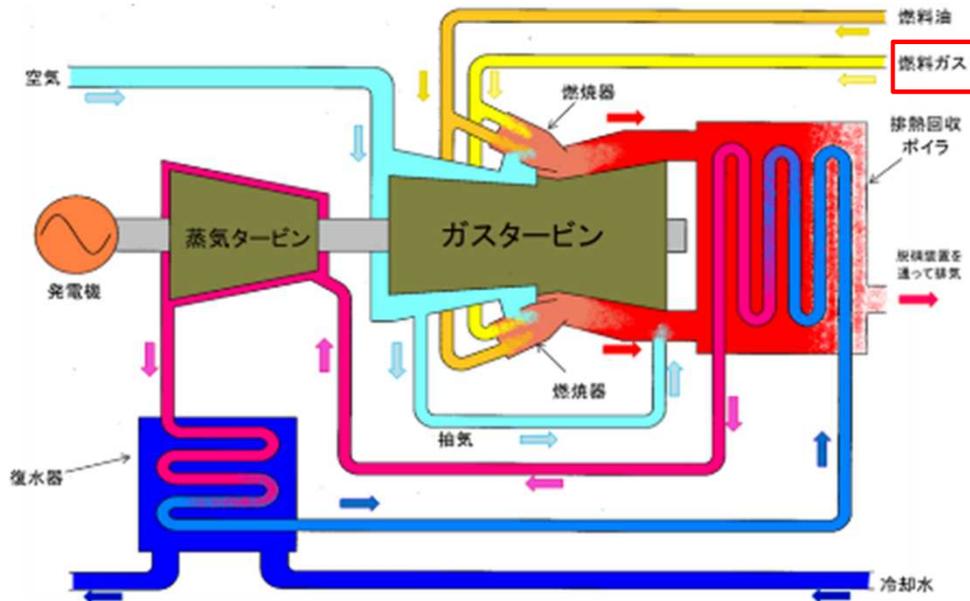


用途	品種
カーゴライン	バタフライ弁、遠隔操作装置
バラストライン	バタフライ弁、遠隔操作装置
機関室	自動調節弁

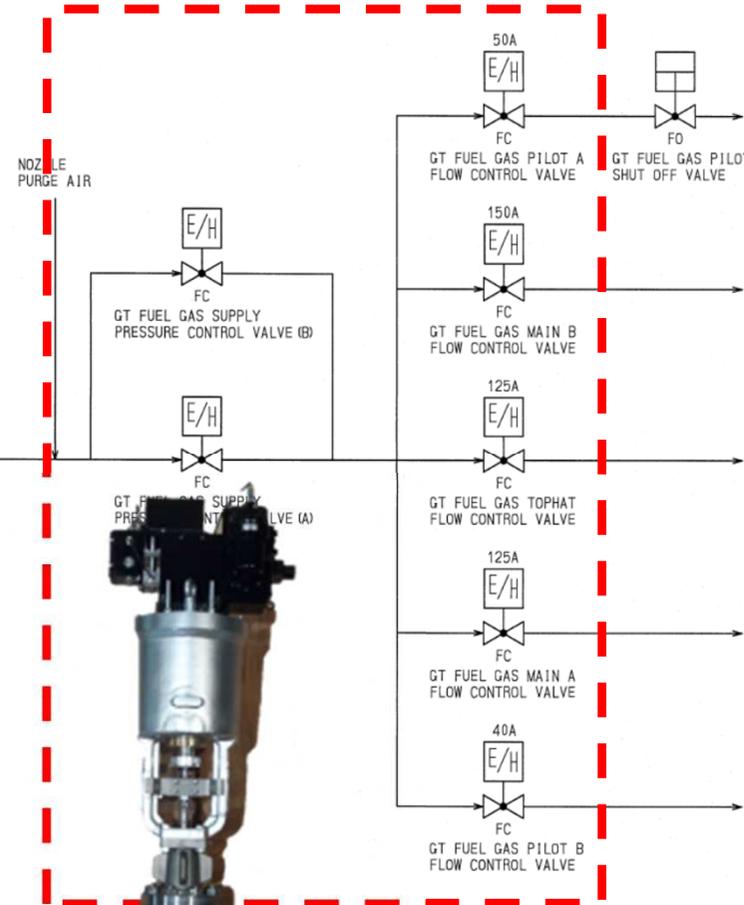
火力発電所用燃料ガス制御弁



- ・国内発電所に多数納入実績あり
- ・燃料ガスラインにて、精密な制御で火力発電の効率化に必要不可欠

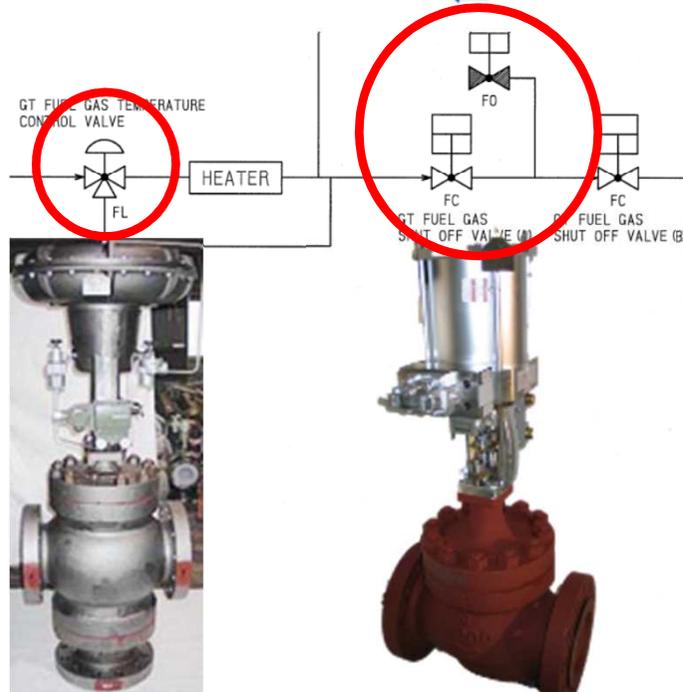


燃料ガスライン



ガスタービンへ

燃料ガス



燃料ガス温度制御弁

燃料ガス遮断弁

燃料ガス制御弁

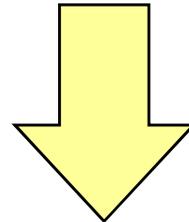
4.品質保証

- ・顧客満足度を得るため、品質管理の仕組みや体制作りを行い、顧客に安心と信頼を提供する
- ・顧客ニーズ・期待・要求に製品が適合しているか各部門のプロセス・システムを管理し、品質を保証している

Safety 安全な環境 **Cost** 適切な価格
Quality 欠陥のない品質 **Delivery** 納期どおりの供給

認 証

認証機関(LRQA)による**ISO9001**認証
認証機関(LR)による**CEマーキング**認証
高圧ガス大臣認定試験者の認定
韓国高圧ガス(KGS)による安全弁認証
韓国KOSHAによる安全弁の**KCsマーク**認証
米国機械学会(ASME)による、**安全弁V、UVスタンプ**認証



信頼されるものづくり企業



5. サービス網

国内サービス網



海外サービス網



- ・製品を熟知したサービススタッフや代理店で国内外の中北ネットワークを構築
- ・納入実績のデータベース化で長く安心して製品をご使用いただける体制を確立





6.中北製作所の特徴と強み

船舶用バルブはハード面
からコントロールシステム
まで一括生産

技術サポート、メンテナンス
など製品ライフサイクルの
全てに対応

国内多数の発電所
に納入実績あり

進取発展

顧客のニーズに対応
した完全受注生産

Frontier Spirit

省エネ環境船や次世代高効率
発電システム等、急進する技術
革新に対処し、顧客ニーズに
即した製品開発

品質方針の運用で
多数の認証を保持し、
高度な品質管理体制
を確立



Ⅱ. 2019年5月期 実績



単位:百万円、%、円

1. 概要

	18/5	19/5	前年同期比		18/12 修正計画	同修正計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	21,788	19,084	▲2,704	▲12.4	18,500	584	3.2
営業利益	1,683	1,148	▲535	▲31.8	1,200	▲51	▲4.3
経常利益	1,853	1,325	▲527	▲28.5	1,380	▲54	▲3.9
当期純利益	1,265	907	▲358	▲28.3	950	▲42	▲4.4
※1 1株当たり当期純利益	344.02	249.87			261.44		
1株当たり配当金(中間) ※2	12.00	50.00			50.00		
1株当たり配当金(期末) ※2	80.00	50.00			50.00		
総資産 ※3	27,352	26,542					
純資産	21,206	21,247					

■海外船用関連のスポット案件の取込みやバラスト水処理装置の工事の増加もあり、売上高は18/12修正計画を上回り、利益面でも期初計画を上回った。

※1 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※2 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合後の基準で換算した場合、18/5期における年間の1株当たり配当金は140.00円となります。

※3 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を19/5期の期首から適用しており、18/5期に係る経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位:百万円、%

	18/5	19/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,762	8,341	▲ 421	▲ 4.8
バタフライ弁	6,893	5,318	▲ 1,574	▲ 22.8
遠隔操作装置	5,844	5,146	▲ 698	▲ 11.9
生産高合計	21,500	18,806	▲ 2,693	▲ 12.5

受注高

	18/5	19/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	7,655	9,173	1,517	19.8
バタフライ弁	5,718	5,612	▲ 105	▲ 1.9
遠隔操作装置	4,630	4,538	▲ 92	▲ 2.0
受注高合計	18,004	19,323	1,318	7.3

受注残

	18/5	19/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	3,433	4,141	708	20.6
バタフライ弁	3,463	3,678	214	6.2
遠隔操作装置	3,298	2,613	▲ 684	▲ 20.7
受注残合計	10,195	10,434	239	2.3

■生産高(前年同期比12.5%の減)

生産高は、自動調節弁が前年同期比4.8%、バタフライ弁が同22.8%、遠隔操作装置が同11.9%減少し、全体では同12.5%の減少となった。

■受注高(同7.3%の増)

ガスタービン発電プラント向けバルブの受注が順調であったため、自動調節弁が前年同期比19.8%増加したが、バタフライ弁は同1.9%、遠隔操作装置は同2.0%減少し、全体では同7.3%の増加となった。

■受注残(同2.3%の増)

新造船市況は低調であるものの、陸上関連が順調なため、受注残高は前年同期比2.3%の増加となった。



3.部門別売上高

単位：百万円、%

	18/5	19/5	19/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	8,880	8,464	▲ 415	▲ 4.7	44.3
バタフライ弁	6,985	5,397	▲ 1,588	▲ 22.7	28.3
遠隔操作装置	5,922	5,222	▲ 700	▲ 11.8	27.4
合計	21,788	19,084	▲ 2,704	▲ 12.4	100.0

単位：百万円、%

	18/5	構成比	19/5			
			増減	同率	構成比	
陸用	5,536	25.4	125	2.3	29.7	
船用	16,252	74.6	▲ 2,830	▲ 17.4	70.3	
合計	21,788	100.0	▲ 2,704	▲ 12.4	100.0	

■売上高は、タンカー向け製品減少の影響により、自動調節弁は前年同期比4.7%、バタフライ弁は同22.7%、遠隔操作装置が同11.8%と減少し、全体では同12.4%減少となった。

■陸用は前年同期に比べ、125百万円増加(前年同期比2.3%増)したが、船用は2,830百万円減少(同17.4%減)し、全体では2,704百万円減少(同12.4%減)となった。



4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	18/5	19/5	19/5		
			増減	同率	構成比
国内	18,026	17,225	▲ 801	▲ 4.4	90.3
韓国	1,239	388	▲ 850	▲ 68.6	2.0
中国(香港)	1,508	886	▲ 622	▲ 41.2	4.6
その他	1,013	583	▲ 430	▲ 42.4	3.1
合計	21,788	19,084	▲ 2,704	▲ 12.4	100.0
輸出比率	17.3	9.7	▲ 7.6		

■タンカー向け製品が減少した影響を受け、国内向けは、前年同期比4.4%、韓国向けは、同68.6%、中国向けは同41.2%、その他は42.4%の減少となった。

■輸出比率は9.7%で7.6ポイントの減少。



5. 損益計算書

単位:百万円、%

	18/5		19/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	21,788	100.0	19,084	▲ 2,704	▲ 12.4	100.0
売上原価	18,129	83.2	16,054	▲ 2,074	▲ 11.4	84.1
売上総利益	3,659	16.8	3,029	▲ 629	▲ 17.2	15.9
販売費・一般管理費	1,975	9.1	1,881	▲ 93	▲ 4.8	9.9
営業利益	1,683	7.7	1,148	▲ 535	▲ 31.8	6.0
営業外損益	169	0.8	177	7	4.7	0.9
経常利益	1,853	8.5	1,325	▲ 527	▲ 28.5	6.9
特別損益	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	1,853	8.5	1,325	▲ 527	▲ 28.5	6.9
法人税等	587	2.7	418	▲ 169	▲ 28.8	2.2
当期純利益	1,265	5.8	907	▲ 358	▲ 28.3	4.8

■売上高は、対前年同期比12.4%の減少。

■利益面に関しては、タンカー向け製品減少の影響により、営業利益は対前年同期比31.8%、経常利益は同28.5%、当期純利益は同28.3%の減少となった。



6. 貸借対照表

単位:百万円

	18/5	19/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	20,989	21,130	140	
現金・預金	7,100	7,279	179	
売上債権	9,073	7,823	▲ 1,250	前年下期比売上減 ▲1,788
棚卸資産	4,046	3,842	▲ 204	
その他	768	2,185	1,417	短期運用 1,400
固定資産合計	6,362	5,412	▲ 950	
有形固定資産	3,287	3,083	▲ 203	減価償却 307 投資 113
無形固定資産	40	49	9	
投資その他の資産	3,034	2,278	▲ 755	長期運用 ▲886
資産合計	27,352	26,542	▲ 809	
流動負債合計	5,829	5,002	▲ 826	
仕入債務	3,749	3,195	▲ 554	
その他	2,079	1,807	▲ 271	
固定負債合計	316	292	▲ 24	
負債合計	6,145	5,295	▲ 850	
純資産合計	21,206	21,247	41	
負債・純資産合計	27,352	26,542	▲ 809	

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を19/5期の期首から適用しており、18/5期に係る経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。



Ⅲ. 2020年5月期見通し



1. 概要

見込み

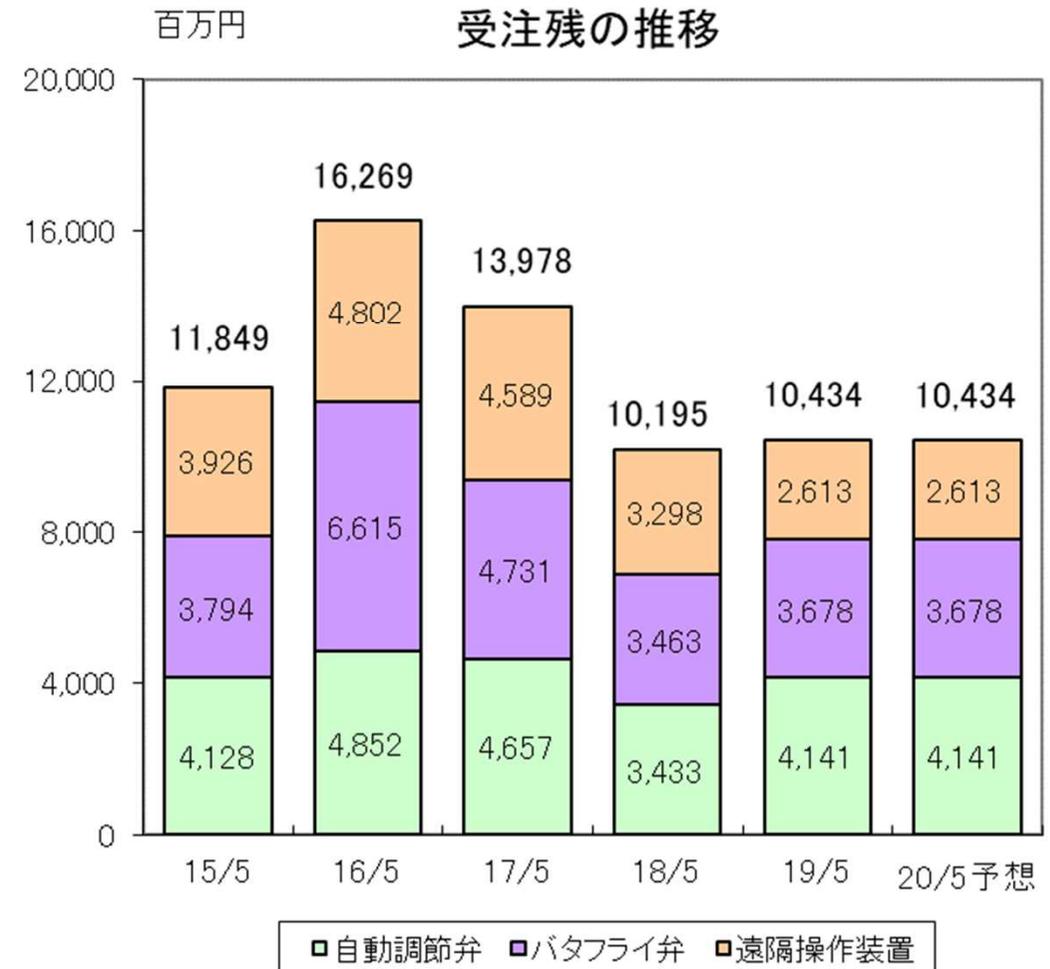
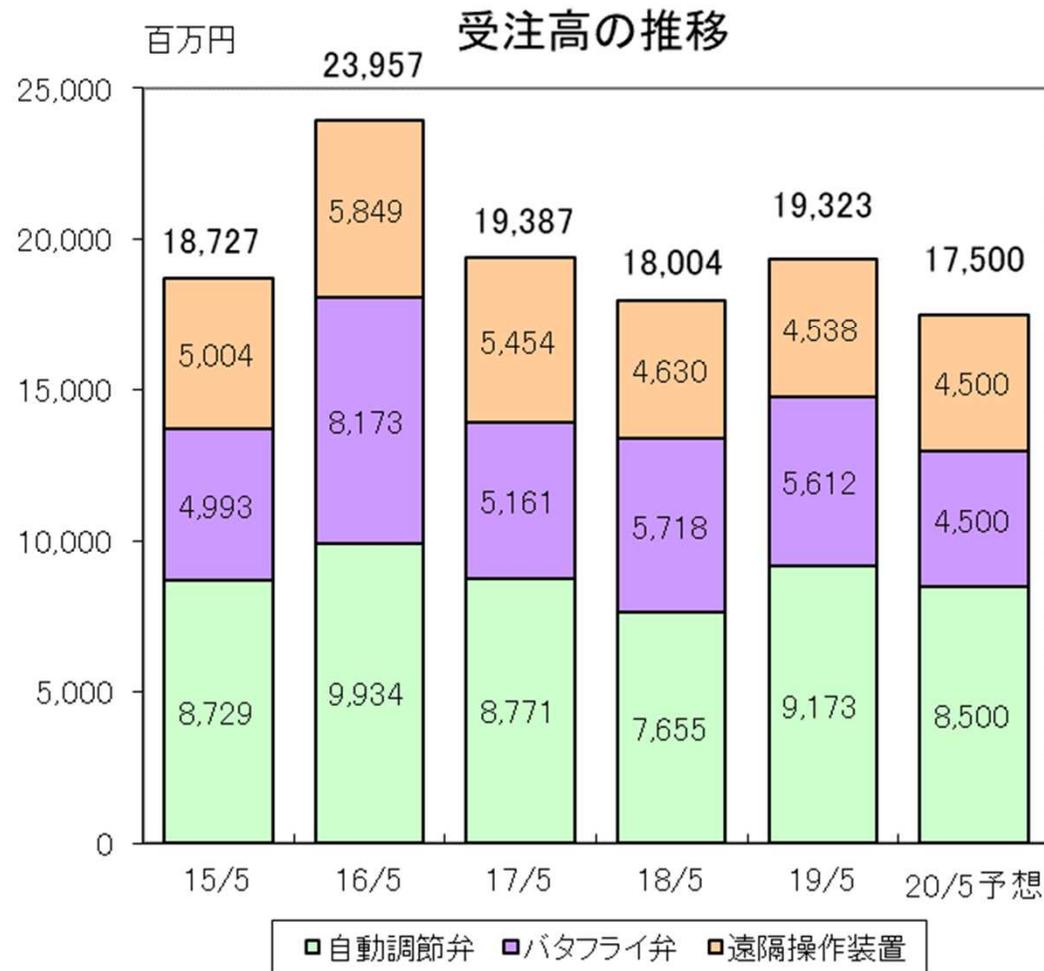
単位：百万円、%、円

	19/5	20/5	前年同期比	
			増減	同率
			売上高	19,084
営業利益	1,148	840	▲ 308	▲ 26.9
経常利益	1,325	1,010	▲ 315	▲ 23.8
当期純利益	907	700	▲ 207	▲ 22.9
1株当たり当期純利益	249.87	192.97		
1株当たり配当金	100.00	100.00		

■売上高は175億円(前年同期比8.3%減)の目標。

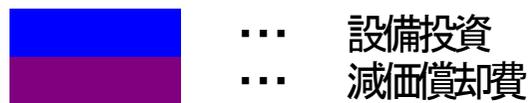
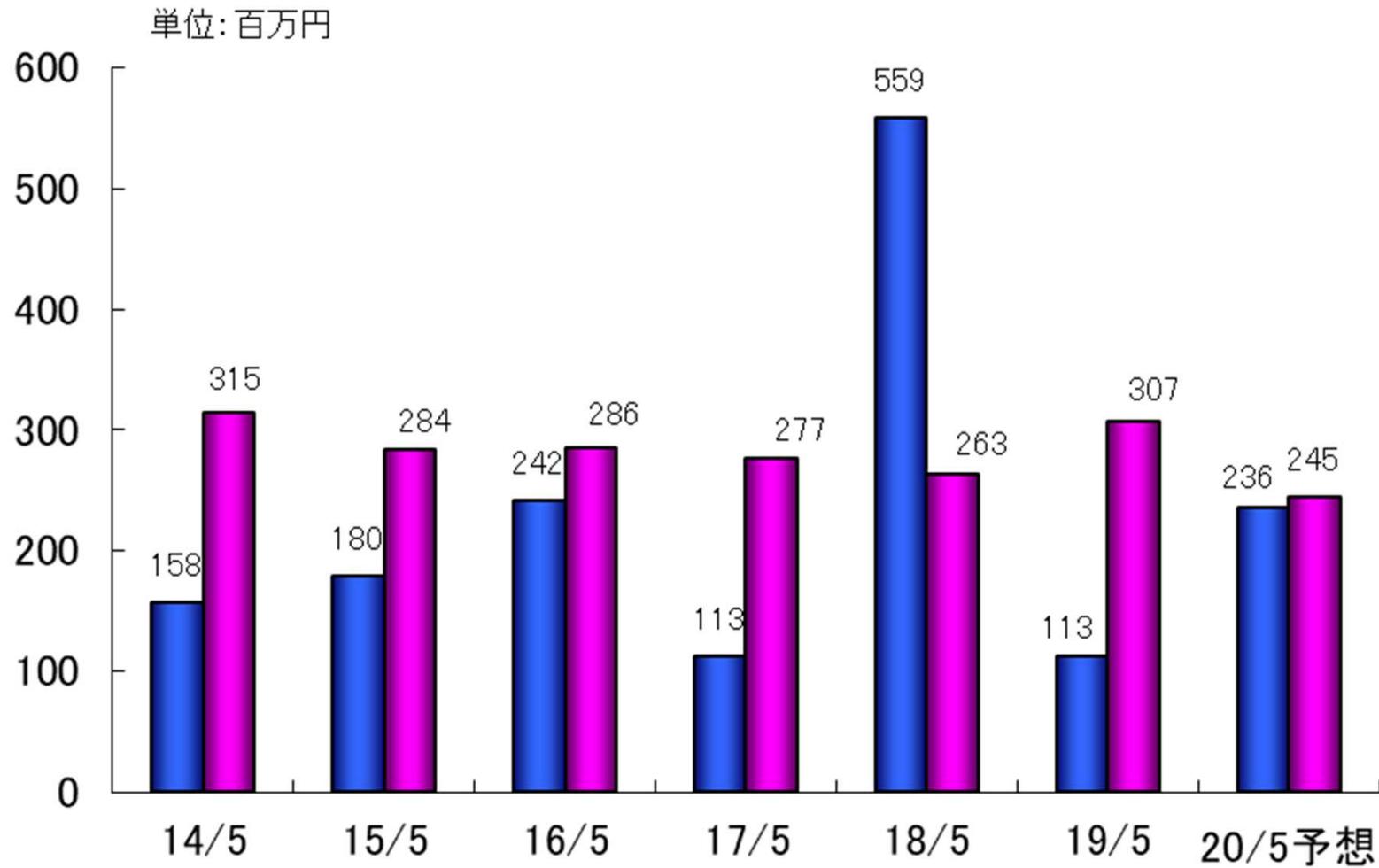
■利益については、タンカー向け製品の販売減少、船用関連の受注採算の悪化も見込んでいる。

2. 受注・受注残の見通し



■ガスタービン発電プラント向けバルブの受注は順調な推移が見込めるものの、新造船市況は、バルクキャリア・コンテナ船が中心となる傾向がみられ、船用関連の受注環境は厳しい状況。

3. 設備投資と減価償却費の見通し





IV. 今後の展望



1. トピックス

(1) RPAへの取組み中

適用業務

- ・反復が多い
- ・データ量が多い
- ・工数がかかり、利用するソフトが複数

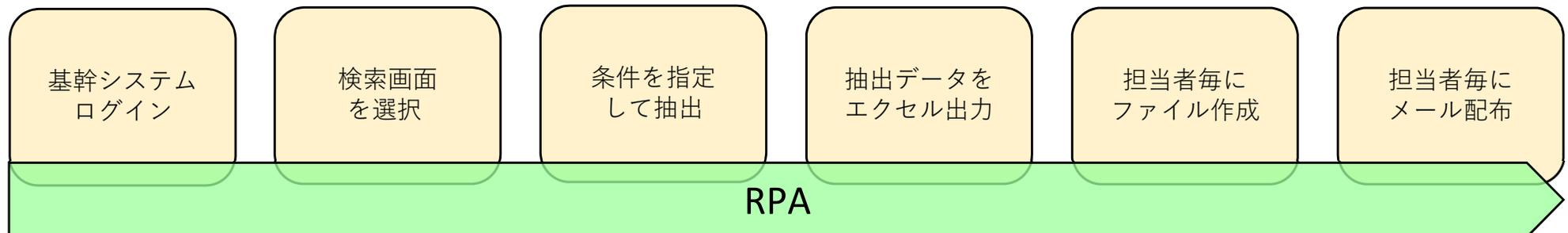


RPAによる自動化、効率化を図っていく



- (例)・購買管理業務
- ・基幹システムへの入力
 - ・図書資料抽出
 - ・納期遅れチェック

購買管理業務への適用例



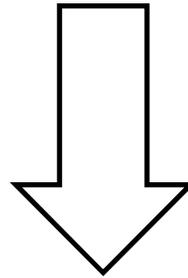


1. トピックス(つづき)

(2) ITツールの利用促進

手順書作成ツールを用いて
組立・加工・検査などの作業手順書の作成を行う

暗黙知(技能)を形式知(技術)化する



- ・生産性アップや品質の維持確保の検討
- ・教育(新人、スキルアップ(多能工化))での利用



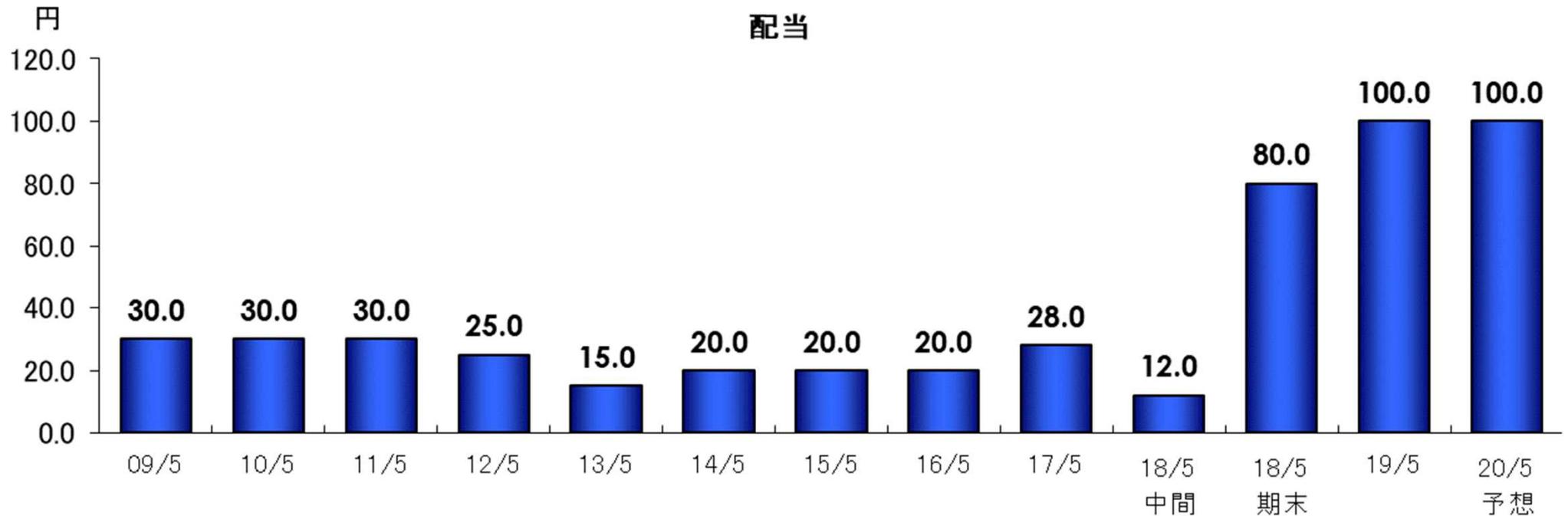
2. 今後の取組み～

1. AI、IT、理論・手法を使った業務改善や業務改革
2. 計画と実績の評価による現場力UP
3. 顧客満足の本質的向上
4. 進取発展の再スタート





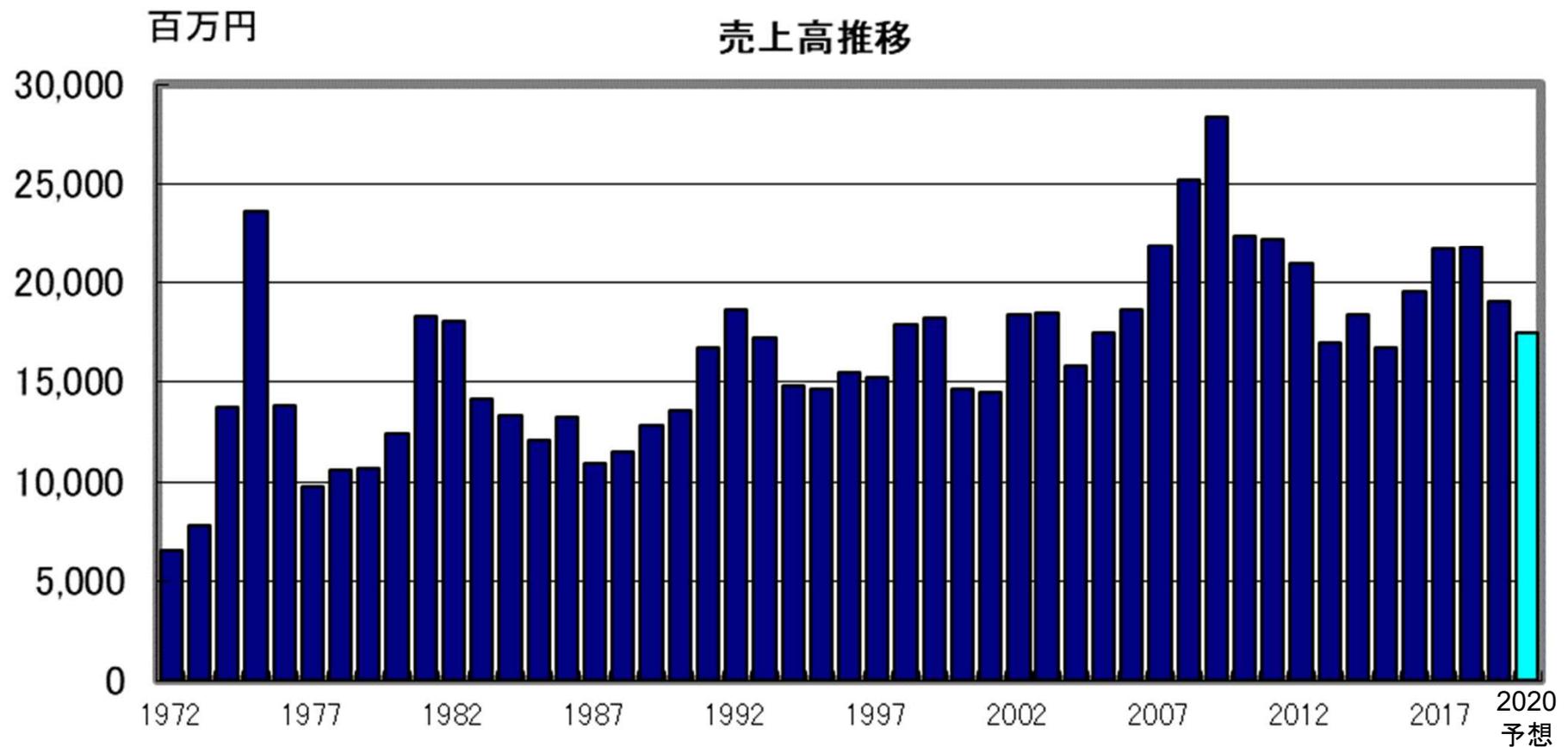
3. 配当実績・予想



※ 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。
18/5期末以後の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

4. まとめ

■進取発展を今一度見つめ直し、AI、IT、理論・手法を用いた業務改善や業務改革を積極的に取り組むことによって、「自動調節弁」「バタフライ弁」「遠隔操作装置」の既存3事業の更なるブラッシュアップに努めてまいります。





V. コーポレート・データ



※1

単位:百万円、%、円

	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5予想
売上高	16,768	19,536	21,678	21,788	19,084	17,500
営業利益	780	1,121	1,613	1,683	1,148	840
営業利益率	4.7	5.7	7.4	7.7	6.0	4.8
経常利益	963	1,274	1,774	1,853	1,325	1,010
経常利益率	5.7	6.5	8.2	8.5	6.9	5.8
当期純利益	595	846	1,203	1,265	907	700
当期純利益率	3.6	4.3	5.6	5.8	4.8	4.0
総資産	25,249	26,621	26,312	27,352	26,542	
株主資本	19,024	19,241	20,075	20,710	21,022	
株主資本比率	75.3	72.3	76.3	75.7	79.2	
株主資本利益率	3.1	4.4	6.0	6.1	4.3	
1株当たり当期純利益 ※2	157.47	225.87	326.22	344.02	249.87	192.97
1株当たり配当金	20.00	20.00	28.00	※3 —	100.00	100.00

※1 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を19/5期の期首から適用しており、15/5期から18/5期に係る経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。15/5期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※3 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。18/5期における年間の1株当たり配当金は「—」として記載しております。18/5期の1株当たり中間配当金は12.00円、当該株式併合の影響を受け、18/5期の1株当たり期末配当金は、80.00円となります。なお、株式併合後の基準で換算した場合、1株当たり中間配当金は60.00円となるため、18/5期における年間の1株当たり配当金は140.00円となります。



単位:百万円

陸船別売上	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5予想
陸用売上	5,542	4,893	5,580	5,536	5,662	5,500
船用売上	11,225	14,643	16,097	16,252	13,422	12,000
合計	16,768	19,536	21,678	21,788	19,084	17,500

品種別売上	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5予想
自動調節弁	9,126	9,211	8,965	8,880	8,464	8,500
バタフライ弁	3,773	5,352	7,045	6,985	5,397	4,500
遠隔操作装置	3,868	4,973	5,667	5,922	5,222	4,500
合計	16,768	19,536	21,678	21,788	19,084	17,500

生産	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5予想
自動調節弁	9,061	9,176	8,937	8,762	8,341	8,500
バタフライ弁	3,746	5,332	7,022	6,893	5,318	4,500
遠隔操作装置	3,840	4,954	5,648	5,844	5,146	4,500
合計	16,648	19,463	21,608	21,500	18,806	17,500

受注	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5予想
自動調節弁	8,729	9,934	8,771	7,655	9,173	8,500
バタフライ弁	4,993	8,173	5,161	5,718	5,612	4,500
遠隔操作装置	5,004	5,849	5,454	4,630	4,538	4,500
合計	18,727	23,957	19,387	18,004	19,323	17,500

受注残	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5予想
自動調節弁	4,128	4,852	4,657	3,433	4,141	4,141
バタフライ弁	3,794	6,615	4,731	3,463	3,678	3,678
遠隔操作装置	3,926	4,802	4,589	3,298	2,613	2,613
合計	11,849	16,269	13,978	10,195	10,434	10,434



・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。